

レベル5大雨特別警報が

発表されたときにとるべき行動

すでに安全な避難ができず、
命が危険な状況です
むやみに移動せず
今いる場所よりも安全な場所へ移動して
身の安全を確保しましょう



浸水した場所での車移動は危険！

立ち往生し水没するおそれがあります。
むやみに移動せずに安全な場所で状況が落ち着くまで待機しましょう。



河川・用水路・冠水した箇所へ絶対に近づかない！

特に地下施設やアンダーパス、低地は短時間で浸水する危険があります。

⚠ 浸水深30cm以上となる低地は要注意



市町村が発令する警戒レベル4 避難指示までに必ず避難しましょう！



レベル5大雨特別警報が発表される前段階から最新の気象・避難情報を確認！

テレビ、ラジオ、インターネット、SNS、防災行政無線等で最新の情報を確認してください！



浸水リスクを確認しましょう！

ご自身のいる場所が、河川の氾濫や内水氾濫による浸水リスクがないか、自治体が公表しているハザードマップや防災情報を確認しましょう。

レベル5大雨特別警報

が発表されたときの車運転の注意点

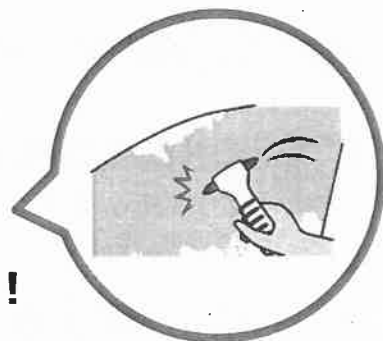
浸水が懸念されるときは
車での移動を控えてください！
冠水した道路への進入は
命に関わる危険があります
安全を最優先に行動しましょう！



車はわずか30cm程度の浸水でも走行不能になる場合があります



エンジン停止や水圧で
窓やドアが開かなくなります
万が一、ドアが開かなくなった場合の備えとして、
脱出用ハンマーをすぐに使える位置に！



水深が床面を超えると、
電気装置が損傷し、自動
スライドドアやパワーウィンドウ
が動作しなくなるおそれ

脱出用ハンマーで割れる
(合わせガラスは割れない)

水深がドアの下端にかかると、車外の水圧により、
内側からドアを開けることが困難となり、
ドアの高さの半分を超えると、内側からほぼ
開けられなくなるおそれ



床面

マフラーから浸水するとエンジン
が停止し、再始動しなくなる
おそれ

吸気口から浸水するとエンジンが
停止し、再始動しなくなるおそれ
(速度が大きいと浸水しやすくなる)

水流がある場合、
車両が流されるおそれ

タイヤが完全に水没すると、
車体が浮いて移動が困難になるおそれ

徒歩または早めの避難を心がけ、

やむを得ず車を使う場合は冠水した道路を避けてください

内閣府(防災担当)・警察庁・消防庁・国土交通省・気象庁